



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の招致決定

第125次国際オリンピック委員会 (IOC) の総会で2020夏季大会の開催都市が東京に決まった。

東京2020 大会を振り返る



ちよだみらいプロジェクトの策定

区の基本計画の中で、東京2020大会については、千代田区を訪れる人々などを「おもてなし」する心の育成、安心・快適に過ごせるような風格と清潔感のあるまちづくりや東京2020大会後の社会にふさわしい取り組みを図ることとされた。



歓迎セレモニー

東京2020フラッグツアー 歓迎セレモニーの実施

地震で被災した4県や都内62区市町村にオリンピック・パラリンピックのフラッグが巡るツアーが行われた。

東京2020パラリンピック競技大会に向けた1年前イベントを開催

パラリンピックの開催1年前を迎え、区役所1階区民ホールにてイベントを開催。



パワーリフティングの体験



コロナ禍の神保町古書店街

新型コロナウイルスの世界的まん延を受け大会の延期が決定

新型コロナウイルス感染症の世界的まん延を受け、安倍晋三首相(当時)とIOCのトーマス・バハ会長とで会談が行われ、その後開催されたIOC理事会で東京2020大会の1年の延期が承認された。

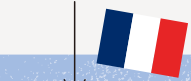
東京2020オリンピック競技大会開幕

開催延期やほとんどの競技会場が無観客など異例づくめの開催となった。実施競技は33競技339種目。



開会式

東京2020大会から2024年の開催地パリ(フランス)へ



2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

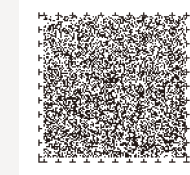
2020

2021

2024

2020オリンピック・パラリンピック対策本部会議の設置

東京2020大会開催に向け、千代田区のまちなぎや風格を一層高める施策推進のための対策本部を設置。



大会エンブレムの公表

江戸時代に広まった市松模様を日本の伝統色である藍色で描いたデザイン。



©Tokyo 2020

大会マスコットがデビュー

全国1万6,769校の小学生による投票で選ばれた大会マスコット。

東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーの実施

新型コロナウイルスの感染状況の改善が図られていないことから、区内でのオリンピック聖火リレーの公道走行、ミニセレーションが中止となった。



第一走者 樋口高顕区長



閉会式

東京2020パラリンピック競技大会閉幕

162の国・地域と難民選手団から4,403人が参加し、22競技539種目を競った。

主な取り組みを紹介!

千代田区主催 東京2020大会関連イベント

これまでのイベントの紹介



清水希容選手と空手体験

2018 7/24 東京2020大会に向けた2年前イベント

東京2020大会を2年後に控えたイベントを本庁舎1階区民ホールにて開催した。

2019 7/18 → 2020 2/17 Let's2020学校等連携事業

1年後に控えた東京2020大会への理解をより深めてもらうため、オリンピック・パラリンピアンを区立保育園や小・中学校などに派遣。



フェンシングの体験

2020 10/28 → 2020 11/3 千代田区・毎日新聞社共催「もう一度、東京2020へ」企画展

東京1964大会の聖火リレーの写真をより深く紹介するパネルなどを区民ホールにて展示。



区内開催競技の紹介パネルを展示

2021 7/16 → 2021 9/5 ポコラート世界展「偶然と、必然と。」

障害者アート支援事業である「ポコラート全国公募展」は、開催10回目となる節目を迎え、国内外の文化交流を促す「ポコラート世界展」へと発展。



武田拓さんの作品「はし」

2021 8/20 東京2020パラリンピック聖火リレー関連イベント(採火式・聖火ピジット)

東京2020パラリンピックの聖火は、全国の自治体などが独自の方法で採火した火と、イギリスのストーン・マンデビルで採火された火が、全国集火式(迎賓館赤坂離宮)で1つに統合されて完成した。



聖火が灯されたランタン

公募した区民による採火

千代田区 オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト

東京2020大会を契機として、区のまちなぎや風格を一層高めるための総合的な施策を推進した。

全74の取り組みはこちら



● 共生社会

サインの整備、多言語対応

公園のサインなど区内の公共サインを見やすく、景観にも配慮した統一感のあるデザインに更新。



多言語化された路上喫煙禁止サイン

障害者への合理的配慮の推進

敬老会やスポーツイベントなど区が主催する行事に手話通訳者を派遣。



イベントでの手話通訳の様子

● スポーツ

障害者(パラ)スポーツの普及・啓発

障害者(パラ)スポーツ競技の体験会や東京2020パラリンピック競技大会のパネル展示。



ポッチャの体験

● まちづくり



九段坂公園

競技会場(日本武道館)周辺の整備

九段坂公園、代官町通り、千鳥ヶ淵緑道サインなどの整備を行った。



公衆・公園トイレ整備

周辺地域のまちづくりや施設の老朽化を考慮しながら、公衆・公園トイレのリフレッシュ工事を進行。



一ツ橋公衆トイレ

熱中症対策

大会が夏季の開催となることから、熱中症対策として区内の公園など全6カ所にドライ型ミストを設置。



千鳥ヶ淵緑道

Wi-Fi環境の整備

公衆無線LANサービス(CHIYODA Free Wi-Fi)を提供し、主要駅周辺や観光スポットなど全51カ所でFree Wi-Fiを使用可能にした。



CHIYODA Free Wi-Fi エリアサイン

